

2010年10月14日

株式会社グラフィン 営業部

**モバイル機器向けMIPIスタンダードに対応したCMOSイメージセンサ画像評価ソリューション発表**

株式会社グラフィン(社長:黒澤 智明、本社:東京都品川区南大井3-20-5)は、自社のモバイル機器向けCMOSイメージセンサ製品(CIS)の画像評価ソリューションの新製品として、モバイル機器デバイスの次世代スタンダードと注目されているMIPI規格(Mobile Industry Processor Interface)に対応したAdvanced Boardを発表し08年内に発売・出荷を開始します。(08年10月22日から開催のVISION Japan 2008に展示)

モバイル機器向けCIS製品は画素数の増大や動画機能の向上など進化のスピードが早く、伝送帯域はGbpsに達しており、ハイビジョンTV信号(HD-SDI 1.485Gbps)やGigabit Ethernet(1Gbps)を既に超えようとしています。従来グローバルスタンダードであったパラレルI/Fでは高帯域データ伝送に限界が生じ、シリアルI/Fへの技術シフトが行われており、モバイル機器向け次世代CISのグローバルスタンダードとしてMIPIに注目が注がれています。

株式会社グラフィンでは予めより、モバイル機器向けCIS製品の画像評価ソリューションとして『GPirates(ジーパイレーツ)』を販売しております。CIS製品の市場動向やユーザからの強い要望で、MIPI規格のカメラインターフェースであるCamera Serial Interface(CSI-2)に対応することが急務となっております。この程、MIPIの物理層であるD-PHYの評価とCSI-2プロトコル制御IPの試作が完成し、Advanced Boardの製品化に着手いたしました。

Advanced Boardの概要は以下の通りです。

Advanced Boardは、既存の『GPirates』シリーズGPLAB-1000U、GPLAB-1000P、GPLAB-1000F用のオプションボードとして提供されます。Advanced Boardには、MIPIの物理層と制御用FPGAが搭載されています。Advanced Boardを使用することにより、『GPirates』シリーズはCIS製品の全てのオープンスタンダードに対応が可能となります。

Advanced Boardの主な機能

- ・GPLAB-1000U、GPLAB-1000P、GPLAB-1000F用アドオンボード
- ・MIPI(CSI-2)対応:標準2Lane 750Mbps
- ・レーン間のスキュー調整機能搭載(FPGA内で78psecの遅延設定)
- ・イメージ・キャプチャー・モード搭載(多彩なイメージ・フォーマットに対応)
- ・パケット・キャプチャー・モード搭載(シリアルパケットのロガーモードを追加)
- ・オプションでMIPI 4Lane対応可能

販売方針

- ・目標市場:携帯電話用イメージセンサの研究開発、セールスデモンストレーション、及び、製造現場での出荷検査装置向け
- ・販売価格:オープン価格
- ・出荷開始時期:2008年12月初旬を予定

グラフィンについて

グラフィンは、画像処理技術のグラフィックス(Graphics)と情報通信技術のインタフェース(Interface)という2つの異なる分野を統合した製品を提供しようという理念の基、1993年1月に設立した会社です。MIPI Alliance、ならびにSMIAのメンバーとしてCISの研究開発、セールスプロモーション、製造の現場で必要とされる画像評価ソリューションをご提供してまいります。

MIPI (Mobile Industry Processor Interface)について

MIPI Allianceは、モバイル機器アプリケーションの開発においてマイクロプロセッサ、周辺機器とソフトウェアインターフェースに焦点を合わせ、標準化している非営利の団体で、詳細は[www.mipi.org](http://www.mipi.org)から参照することができます。

株式会社グラフィン 営業部

TEL:03-5493-1211 E-mail:sales@g-in.co.jp URL:www.g-in.co.jp